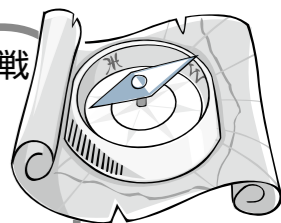


くしまを

串間の魅力 再発見

◎トビウオすくい再挑戦



あそぼっ。



トビウオが来るのをじっと待っています

串間の夏の風物詩の一つであるトビウオすくい。今年も挑戦してきました。トビウオすくいは毎年6月から9月に行われますが、なぜこの時期におこなわれるのでしょうか。

実はトビウオはサンマなどと同じ季節回遊魚。春から夏の間に日本近海にやって来て産卵を行います。ふ化したトビウオの稚魚は、しばらく日本近海にとどまったあと、秋に東シナ海に南下します。そして次の年、再び産卵のため日本近海に戻ってきます。つまりトビウオすくいが行われる6月から9月は成長したトビウオが日本の近海にたくさんいる時期なのです。ちなみにトビウオがジャンプするのは、シイラなどの天敵から逃げるためといわれています。日が落ちた7時半過ぎ、立宇津港から漁船に乗り込み、沖合2kmほどにある漁場を指して出発します。この日は光がほとんどない闇夜。トビウオを集めるには

ちょうどよい条件でしたが、気になるのが海の状態です。

前日の雨の影響からか、海に木の枝などのゴミが浮かんでいました。10分ほどで漁場に到着し、船頭さんが集魚灯を点灯します。そのまま船を走らせトビウオを集めるのですが、この日はなかなか姿が見えません。船頭さん

大海原を飛ぶトビウオをすくおう



魚をすくいあげているところ。残念ながらトビウオはとれませんでした。

んに話を聞いたところ「海に漂流物が多くて、集魚灯の光が海に広がりづらい」と、前日まで降っていた雨のため水温が下がっていることの2つが原因だろう」と話してくれました。

今回は残念ながらトビウオの姿を見ることはできませんでしたが、ハリセンボンとサヨリをなんとか捕まえることができました。ピークを迎える8月には30〜40cmほどの大物を捕まえることができます。夏休みは、親子でトビウオすくいに挑戦してみてください。

●期間 10月31日まで
●出航時間 午後7時ごろ
※出航は日没後となるので状況によって時間が変わります。詳しくはお問い合わせの際に確認をお願いします。

●時間 1時間程度
●料金 1万円（1隻5人まで）

※事前に予約が必要です。
●問い合わせ先 串間温泉いこいの里 ☎75-2000、都井遊漁船組合小田原敏郎組合長 ☎090-8397-9504、川崎義宏さん ☎090-7292-8176

平成23年春の叙勲受章者4人の皆さんをご紹介します。

旭日中綬章

◎受章者名 鈴木重格さん
(福島地区・北金谷)

昭和34年、串間市役所に入庁。その後、昭和42年から串間市議会議員を連続6期、宮崎県議会議員を連続4期務められました。平成14年からは串間市長を2期8年務められ、行政改革や財政再建、水辺環境の保全などに取り組み、串間市の発展に大きく貢献されました。

瑞宝双光章

◎受章者名 岩下五男さん
(北方地区・羽ヶ瀬)

昭和42年、串間市消防吏員に任命。平成20年まで41年間勤務され、その間、串間市の消防の最前線で幅広く活躍されました。また平成17年からは消防長として串間市の消防力向上に大きく貢献されました。

瑞宝双光章

◎受章者名 嶋浦満博さん
(福島地区・本町一丁目)
昭和43年、航空自衛隊に

入隊。さまざまな部隊に所属し、平成15年配属された高畑山分屯基地を最後におよそ35年間、われわれの生命と財産を守るべく最前線で活躍され、わが国の防衛に大きく貢献されました。

瑞宝単光章

◎受章者名 川崎敏大さん
(大東地区・三幸ヶ野)

昭和39年、串間市消防団第三分団(現大東分団)に入団。精力的に消防業務に従事し、団員の訓練についても率先して指導にあたりました。平成18年から22年までの4年間は消防団長として幅広く消防団活動に尽力し、串間市の消防、防災体制の充実に大きく貢献されました。

●問い合わせ先 総務課 行政係 ☎内線314



旭日中綬章 鈴木重格さん



瑞宝双光章 岩下五男さん



瑞宝双光章 嶋浦満博さん



瑞宝単光章 川崎敏大さん

■平成23年春の叙勲において、串間市では4人の方へ勲章が贈られました。この勲章は、国家または公共に対し功労のある方で、公務などに長年従事し、顕著な功績をあげた方に贈られるものです。

平成23年春の叙勲